

<報道資料>

2005年7月14日

## “まちづくり”で官学連携 東京理科大学と小布施町(長野県)が共同で「まちづくり研究所」を設立

開所式および設立協定調印式を7月18日に開催

東京理科大学科学技術交流センター

学校法人東京理科大学(東京都新宿区 理事長・塚本桓世)と長野県上高井郡小布施町(町長・市村良三)は、大学と町が協力して地域の自然や歴史風土に根ざした新しいまちづくりを推進していくことを目的に、同町役場内(長野県上高井郡小布施町大字小布施1492番地2)に「東京理科大学・小布施町まちづくり研究所」を設立、7月18日に設立協定を締結いたします。大学と町が共同で、まちづくりに特化した研究所を設立するのは、全国でも初めての試みとなります。

今回の研究所設立は、これまで建築家の宮本忠長氏が中心となって進めてきた小布施町独自のまちづくり事業に、同じくまちづくりをテーマに研究活動をしており、地域特有の自然や歴史風土を活かしていく小布施町の試みに高い関心を寄せていた東京理科大学理工学部建築学科の川向正人教授が参画することで実現したものです。今後は同研究所を拠点として、川向研究室に在籍する約30人の学生が定期的に町に滞在、住民と生活を共にしながら建物や道路、水路などを調査。結果をまとめて、地域の特性を生かした景観のあり方などを提言し、まちづくりの具体的な施策に反映させていきます。こうした施策立案のほか、景観形成の総合研究、ワークショップ、シンポジウムなどを展開していく予定です。また“まちづくり”を通じて、歴史、土木設計、建築のほか、広く人文科学と自然科学が交流するネットワークを構築し、10年、20年先を見据えた新たなまちづくりを目指していきます。

また、これまで科学技術交流センター(承認 TLO)が中心となり産官学連携事業、地域振興の推進に積極的に取り組んできた東京理科大学では今後、北海道(長万部キャンパス)から山口県(山口東京理科大学)に至る全国規模のネットワークを生かして、新たな文化的産官学連携としてまちづくりを積極的に推進していく予定です。

### 本件に関するお問合せ先

◇東京理科大学科学技術交流センター(承認 TLO) 【略称:RIDAI SCITEC】◇  
総合企画部研究支援課 担当者 / 加藤 貴  
TEL: 03-5225-1089 / e-mail: [tlo@admin.tus.ac.jp](mailto:tlo@admin.tus.ac.jp)  
URL: <http://www.tlo.tus.ac.jp/>

【東京理科大学・小布施町まちづくり研究所 開所式、設立協定調印式 概要】

◇ 開催日時： 7月18日(月)  
開所式(午後2時～) / 調印式(開所式に引き続き) / 記念座談会(午後3時30分～)

◇ 開催場所：  
開所式 東京理科大学・小布施町まちづくり研究所(小布施町役場内)  
調印式 小布施町役場 第1会議室  
座談会 小布施町 公民館講堂

◇ スケジュール： ※ プレスの皆様への発表は午後3時30分より予定しております

開所式

1. テープカット
2. 内覧

調印式

1. 趣旨説明
2. 調印 小布施町長・市村良三  
学校法人東京理科大学理事長・塚本桓世(代理:常務理事 原 文雄)
3. 挨拶 小布施町長・市村良三  
学校法人東京理科大学常務理事 原 文雄  
研究所所長 川向正人(東京理科大学理工学部建築学科教授)
4. 来賓祝辞  
小布施町議会議長 金田茂  
宮本忠長建築設計事務所 所長 宮本忠長

座談会

1. まちづくり研究所設立の趣旨説明 川向正人(東京理科大学)
2. 現在までの研究概要(調査内容)の発表
3. まちづくり座談会  
パネリスト： 市村良三(小布施町長)  
宮本忠長(宮本忠長建築設計事務所所長)  
中島聞多(信州大学人文学部教授<学長補佐・地域  
貢献担当>)  
市川健夫(東京学芸大学名誉教授・小布施町住民代  
表)  
北村登夫(小布施景観研究会会長)

◇ 小布施町役場住所：長野県上高井郡小布施町大字小布施1492番地2